

令和4年度 学校だより

6月号

横浜市立上郷小学校



上郷

〒247-0026 横浜市栄区犬山町6番1号 電話 045-894-0761

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/kamigo/>

雨の日 と 晴れの日

学校長 海津 善宜

新年度がスタートして3か月目に入りました。子どもたちも教職員も新しい環境によりやく慣れてきて、「さあ、これからが本領発揮」と気持ちを引き締めているのではないかと思います。ちょっぴり緊張しながら入学した一年生は、もうすっかり上郷小学校の一員になっています。これからの季節、気温が上がり、熱中症が心配になる時期を迎えます。本校でも実情に合わせて、横浜市のガイドラインに沿って熱中症対策をしてまいります。また、引き続き、新型コロナウイルス感染症対策も行っていますので、ご理解・ご協力をお願いいたします。

今年の梅雨入り予想は、平年並みの6月上旬ということで、昨年より少し早い梅雨入りになりそうです。校庭では本校自慢の紫陽花は、青々とした葉を茂らせ、つぼみをつけ始めました。このような自然の植物がたくましく伸びゆく様に勇気と希望を感じるのは私だけではないと思います。草木の生長にとってなくてはならないのが、雨の日であり、また晴れた日です。どちらもちょうどよい加減で繰り返されることで、幹や枝は大きくなり、葉は、勢いよく生い茂ります。もし、雨ばかり降っていけば、植物は根が腐って育ちません。逆に、晴れの日ばかりがでも、水分がなくなって枯れてしまいます。このように、植物の生長には反対のもの同士が必要となります。子どもの心の成長にも雨と晴れのようなまったく逆なものが必要だと思えます。それは、「やさしさ」と「きびしさ」です。子どもたちは、「やさしさ」だけでは甘えやわがママが前面に出てしまいます。また、「きびしさ」だけでは、気持ちがすさんだり、いじけたり、劣等感をもったりしてしまいます。一日のなかで子どもたちは、何回かほめられたり、注意を受けたりする機会があると思えます。子どもを取り巻く大人は、自分を認めてやさしくほめられること、なぜ注意をされたかが気づくことができる経験をさせることが大切です。いずれにしても、子どもの心に寄り添う気持ちが必要であり、子どもたちは、その経験を生きる力として吸収し、良好な人間関係を構築し、的確な判断ができるようになるはずで、このように経験を繰り返すことで、人にやさしく、地域社会の一員として自覚をもった人間に成長していくのだと思えます。

本校でも、学校生活を通して、自己肯定感が高まる「心に寄り添うやさしさ」と自ら間違えに気づくことができる「心に寄り添うきびしさ」をもって、教育活動を進めていきたいと思えます。ご理解とご協力をお願いいたします。

